前立腺癌に対する放射線治療予定の患者さんへ
SpaceOAR のご案内

前立腺癌の放射線治療を開始される患者様に対しましてSpaceOARの使用をご案内させていただきます。

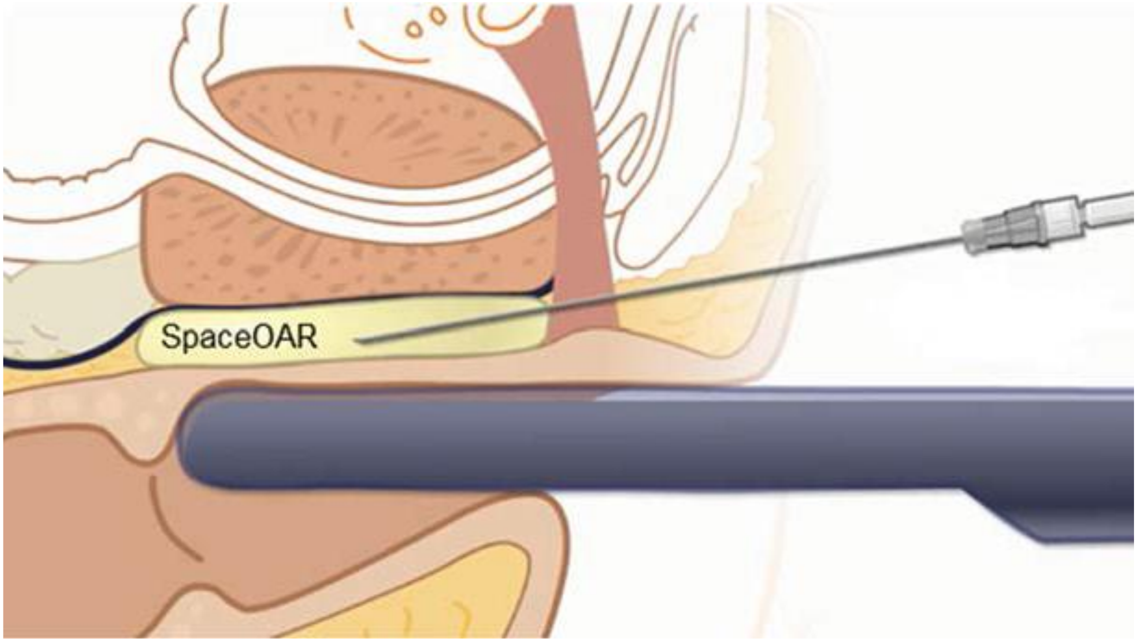
当院では治療成績の向上及び有害事象の軽減を目指して、小線源治療（ブラキセラピー）や強度変調放射線治療（IMRT）を行い、前立腺に放射線を集中させ、周りの臓器(直腸、膀胱)の被ばくを減らすことで、副作用の減少につとめています。

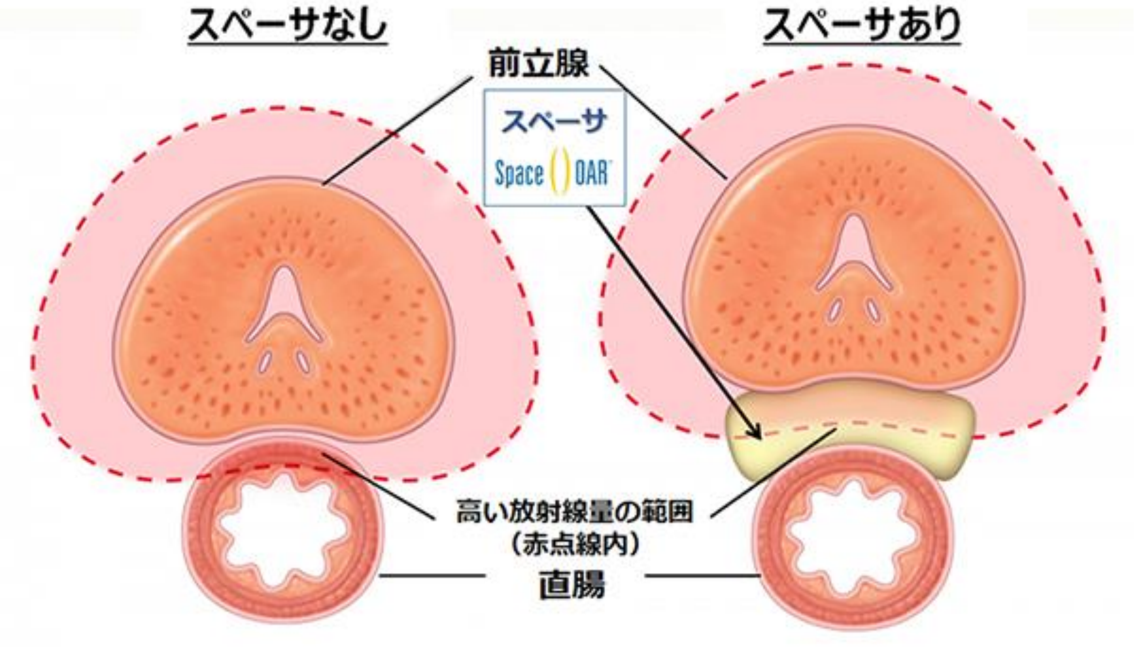
しかし、前立腺と密着している直腸に対しては線量を下げることが難しく、副作用として直腸出血は一定の割合で起こってしまうのが現状です。

前立腺と直腸の間に SpaceOAR を注入し、前立腺と直腸の間に隙間を作ることで直腸への被ばくを減らす方法です。

細い針を使ってエコーで確認しながら、前立腺と直腸の間に SpaceOAR を注入します。小線源治療の場合は治療時に行います。

液体状の SpaceOAR が前立腺と直腸の間に広がり、両者の間に隙間を作ることによって、直腸への被ばくを減らします。





米国の臨床試験では、SpaceOAR 10 ccの注入によって 97.3％の患者様で直腸への照射量が 25％以上減少したと報告されています。

原料であるポリエチレングリコールエステル化合物は、脳外科手術における硬膜開頭時の補填剤などとしても臨床現場で使用されているため、安全性は問題ないといえます。約 3 か月間体内で形状を保ち、6 か月程度でゆっくりと自然吸収されます。

ただし、わずかですが、直腸炎や直腸違和感、排便時・排尿時痛、出血など生じることがあります。
また、ごくまれですが、注入時に針の先端で直腸や膀胱を傷つけたり、それが原因で出血や感染などより重篤な有害事象が生じることがあります。

保険診療ではありますが、通常の放射線治療費に加えて 206000 円（手術料・材料費を含む）が加算されます。